報道資料　平成 28 年 10 月 14 日

多様な人の間にある「伝わらなさ」を認めたうえではじまる関係とは？

東京迂回路研究　オープンラボ
「言葉を交わし、言葉をつむぐ 5 日間」開催決定のお知らせ
＜ 2016 年 10 月 26 日（水）～30 日（日）＞

多様な背景や経験を抱える者が共にあるとき、「伝わらなさ」がその間に立ちはだかることがあります。**伝わらないことの前に、人はとても不安になり、寂しい思いもします。伝えることを諦めてしまうかもしれません。**結果、孤立が生じることもあるでしょう。しかし、人はずっと孤立したままでは生きていけません。それであれば、**伝わらなさを認めたうえで、そこからはじまる関係を一緒に探求していくことが必要なのではないでしょうか。**

このたび、東京都、アーツカウンシル東京 (公益財団法人東京都歴史文化財団)、特定非営利活動法人多様性と境界に関する対話と表現の研究所の共催事業「**東京迂回路研究**」の一環として、 5 日間にわたり、＜オープンラボ＞を実施いたします。＜「言葉を交わすこと」「言葉をつむぐこと 」を体感し、そのありようについて考える＞をテーマに、活動報告、ワークショップ、ライブ、全員参加型トークセッションなどを開催いたします。ぜひ貴媒体にてご掲載、ご取材いただきますようお願い申し上げます。

※**東京迂回路路研究**は、平成 26 年度より開始されたプロジェクトです。社会における人々の「多様性」と「境界」に関する諸問題に対し、調査・研究・対話を通じて、“生き抜くための技法” としての「迂回路」を探求しています。

＜ イベント概要 ＞

■**主催：**東京都、アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）、
特定非営利活動法人多様性と境界に関する対話と表現の研究所

■**日程：**2016 年 10 月 26 日（水）～30 日（日）

■**参加費：**プログラム毎に 500 円

■**内容：**（詳細については添付資料や、http://www.diver-sion.org/tokyo/program/openlab/ をご確認ください）

【10/26】プログラム 1　オープンミーティング＆ワークショップ「ハーモニー」
登壇：ハーモニーのメンバーとスタッフ、ワークショップ開発チーム　[会場：ハーモニー]

【10/27】プログラム 2　中間報告＆ワークショップ「もやもやフィールドワーク調査編：ハーモニー」
登壇：ハーモニーのメンバーとスタッフ、ワークショップ開発チーム　[会場：芝の家]

【10/28】プログラム 3　活動報告＆ディスカッション「東京迂回路研究」
登壇：井尻貴子、三宅博子、石橋鼓太郎（多様性と境界に関する対話と表現の研究所）
[会場：アーツカウンシル東京 ROOM302]

【10/29】

プログラム 4　ワークショップ「こころのたねとして：齋藤陽道さんの写真から＠東京迂回路研究」
ゲスト：上田假奈代（詩人）

プログラム 5　スライドショー＆ライブ「詩・写真・声ーここから言葉をつむぐということ」
ゲスト：山崎阿弥（声のアーティスト）　スライド作品提供：齋藤陽道（写真家）＊齋藤さんの出演はありません。
[会場：SHIBAURA HOUSE]

【10/30】プログラム 6　トークセッション「“いたみ ” の共有は可能か？」
ゲスト：西村高宏、近田真美子（てつがくカフェ＠せんだい）　[会場：アーツカウンシル東京 ROOM302]

＜お問い合わせ＞　特定非営利活動法人 多様性と境界に関する対話と表現の研究所
TEL：070–6437–3599　E–mail：info@diver–sion.org（担当：井尻）

イベント内容および活動に関するお話は積極的にさせていただいておりますのでお気軽にご連絡をいただけますと幸いです。（ウェブサイト：http://www.diver-sion.org/tokyo/ ）

添付資料　**東京迂回路研究　オープンラボ「言葉を交わし、言葉をつむぐ、５日間」プログラム**

■１日目　10月26日（水）

PROGRAM 1	**オープンミーティング＆ワークショップ「ハーモニー」**
14:00〜16:30 会場：ハーモニー 定員： 15名 参加費： 500円	ハーモニーで最も大切とされている活動のひとつが、毎週開催されているメンバーミーティング。近況報告や困りごとなどを丁寧に言葉にすることを通じ、他者と共有することを試みています。ここでは、ハーモニーメンバーに加え、参加者のみなさまと一緒にこのミーティングの場をつくりだします。また、調査編をとおし開発したワークショップを実施します。 登壇：ハーモニーのメンバーとスタッフ、ワークショップ開発チーム

＜会場アクセス＞　障害者就労継続支援 B 型事業所　ハーモニー
〒154-0017 東京都世田谷区世田谷 3-4-1 アップビル 2 階
東急世田谷線上町駅より徒歩 1分

■２日目　10月27日（木）

PROGRAM 2	**中間報告＆ワークショップ 「もやもやフィールドワーク調査編：ハーモニー」**
19:00〜21:00 会場：芝の家 定員： 15名 参加費： 500円	今年度の「もやもやフィールドワーク調査編」では、アクションリサーチの手法をとり、ハーモニーメンバーや外部協力者と一緒に、ワークショップの開発に取り組んできました。ここでは、開発チームによるプロジェクトの中間報告を行います。また、調査編をとおし開発したワークショップを実施します。 登壇：ハーモニーのメンバーとスタッフ、ワークショップ開発チーム

＜会場アクセス＞　芝の家
〒105-0014 東京都港区芝 3-26-10
JR 田町駅三田口より徒歩 10分 、都営三田駅 A3・A8 出口より徒歩 10分

障害者就労継続支援 B型事業所　ハーモニー
世田谷区にある施設。不思議な声が聴こえたり、思い込みを超えた確信があったり …メンバーたちの経験をもとに「幻聴妄想かるた」をつくり、販売している。理解されにくいことも表現して大丈夫。そんな思いをこめて、最近は本屋、大学、ギャラリー等で出張かるた大会を行っている。 http://www.geocities.jp/harmony_setagaya/

ワークショップ開発チーム
平成 28年度「もやもやフィールドワーク調査編」をとおし、ワークショップを開発するにあたり結成したチーム。多様性と境界に関する対話と表現の研究所の研究員、精神保健福祉士、介護ヘルパー、ハーモニースタッフ、映像記録者等からなる。
チームメンバー：石橋鼓太郎、梅津正史、田中みさよ、富樫悠紀子、三宅博子、渡辺一充

■３日目　10月２８日（金）

PROGRAM 3	**活動報告＆ディスカッション「東京迂回路研究」**
19:00〜20:00 会場：アーツカウンシル東京 ROOM302 定員： 20名 参加費： 500円	平成26年度より開始したプロジェクト「東京迂回路研究」。ここでは、今年度事業を中心に、その活動について報告し、参加者のみなさまとディスカッションを行います。 登壇：井尻貴子、三宅博子、石橋鼓太郎（多様性と境界に関する対話と表現の研究所）

＜会場アクセス＞　アーツカウンシル東京 ROOM302（アーツ千代田 3331）
〒101-0021 東京都千代田区外神田 6 丁目 11-14　アーツ千代田 3331 3階
東京メトロ銀座線末広町駅 4番出口より徒歩 1分
東京メトロ千代田線湯島駅 6番出口より徒歩 3分 都営大江戸線上野御徒町駅 A1番出口より徒歩 6分
JR 御徒町駅南口より徒歩 7分、JR 秋葉原駅電気街口より徒歩 8分

■４日目　10月２９日（土）

PROGRAM 4	**ワークショップ** **「こころのたねとして：齋藤陽道さんの写真から＠東京迂回路研究」**
15:00〜17:00 会場：SHIBAURA HOUSE 3階 定員： 20名 参加費： 500円	上田假奈代さんが全国各地で実施している詩の創作ワークショップ「こころのたねとして」は、参加者どうしがインタビューをしあい、詩をつくるというもの。ここでは、齋藤陽道さんの写真から、想起されることについてインタビューしあい、詩をつくってみます。 ゲスト：上田假奈代（詩人）

PROGRAM 5	**スライドショー＆ライブ** **「詩・写真・声ーここから言葉をつむぐということ」**
17:30〜19:00 会場：SHIBAURA HOUSE 5階バードルーム 定員： 20名 参加費： 500円	プログラム 4のワークショップで生まれた詩の朗読と、齋藤陽道さんの写真のスライドショーを行います。また、声のアーティスト山崎阿弥さんを迎え、詩、写真、音声などさまざまな声の共演を試みます。 ゲスト：山崎阿弥（声のアーティスト） スライド作品提供：齋藤陽道（写真家） ＊齋藤さんの出演はありません。

＜会場アクセス＞　SHIBAURA HOUSE
〒108-0023 東京都港区芝浦 3-15-4
JR 田町駅芝浦口より徒歩 7分、都営三田駅 A4出口より徒歩 10分

上田假奈代
詩人。 NPO 法人こえとことばとこころの部屋 (ココルーム)代表。大阪市立大学都市研究プラザ研究員。1969年生まれ。 3歳より詩作、17歳から朗読をはじめる。 01年「詩業家宣言」。「表現と自立と仕事と社会」をテーマに活動。西成区で「ゲストハウスとカフェと庭ココルーム」と「釜ヶ崎芸術大学」などを運営している。近著に『釜ヶ崎で表現の場をつくる喫茶店、ココルーム』。

山崎阿弥
声のアーティスト、映像・造形作家。声で空間の音響的な陰影を感得し、パフォーマンスやインスタレーションによってその影や光を引き出す／失わせることを試みる。「世界は、私は、どのようにして出来ているのか？」という問いをもち、作品制作や歌唱を問いへのアクションと位置付ける。 2017年は ACCグランティとして半年間 NY市で活動。
http://amingerz.wixsite.com/ami-yamasaki

齋藤陽道
写真家。 1983年生まれ。石神井ろう学校卒業。 2010年第 33回キャノン写真新世紀優秀賞受賞。写真集に『感動』 (2011年、赤々舎)、『宝箱』 (2014年、ぴあ)など。最新作に『写訳春と修羅』 (2015年、ナナロク社)。また、陽ノ道というリングネームで障害者プロレス団体「ドッグレッグス」に所属している。

■５日目　10月３０日（日）

PROGRAM 6	**トークセッション「“いたみ ”の共有は可能か？」**
13:00〜16:30 会場：アーツカウンシル東京 ROOM302 定員： 30名 参加費： 500円	ひとりひとり異なる私たち。それでも共に生きようとするとき「 “いたみ ”の共有は可能か？」という問いが浮かびあがります。この問いを出発点に、ゲストトーク、参加者全員での対話、サイレントダイアローグなどをとおし、この社会で生きることについて考えます。 ゲスト：西村高宏、近田真美子（てつがくカフェ@せんだい）

トークセッション詳細（予定）　＊途中休憩等をはさみます。	
オープニング	問いの提起、ゲストトーク
セッション 1	てつがくカフェ（問い「 “いたみ ”の共有は可能か？」について対話する）
セッション 2	サイレントダイアローグ（それぞれの問いについて紙面上で対話する）
クロージング	感想を共有する

＜会場アクセス＞　アーツカウンシル東京 ROOM302（アーツ千代田 3331）
〒101-0021 東京都千代田区外神田 6 丁目 11-14　アーツ千代田 3331 3階
東京メトロ銀座線末広町駅 4番出口より徒歩 1分
東京メトロ千代田線湯島駅 6番出口より徒歩 3分 都営大江戸線上野御徒町駅 A1番出口より徒歩 6分
JR 御徒町駅南口より徒歩 7分、JR 秋葉原駅電気街口より徒歩 8分

てつがくカフェ@せんだい
2010年に開始した、＜自明なこと＞からいったん身を引き離し、投げかけられる「そもそもそれって何なのか」というような遡行的な問いを参加者どうしが共有し、「哲学的な対話」を通して、自分自身の考えを逞しくすることの難しさや楽しさを体験してもらう対話の場。東日本大震災後は、せんだいメディアテークにて「考えるテーブル」として行っている。